

独立行政法人海上災害防止センター第1回契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成22年1月22日(金) 海上災害防止センター会議室
委員	北村信彦 (公認会計士) 小塚荘一郎 (上智大学法科大学院教授) 田付茉莉子 (青山学院大学経済学部教授)
委員長の選出及び委員長代理の指名	委員の互選により北村委員が委員長に決定された。 また、小塚委員が委員長代理に指名された。
審議事案	
競争性のない随意契約	46件
一者応札・一者応募の契約	23件
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	「大型油回収装置の保管管理契約」について随意契約として いるが、次回の契約に向け公募を含め競争性のある契約方式 の可能性について検討する必要がある。

1. 競争性のない随意契約について

意見・質問	回答
<p>№1 「海上防災」5200部購入」 契約相手方 : 海上防災事業者協会 契約金額 : 3,411,200円 契約締結日 : 平成20年4月1日</p> <p>特になし</p>	
<p>№2 「事務室の清掃契約」 契約相手方 : 菱清サービス(株) 契約金額 : 1,348,200円 契約締結日 : 平成20年4月1日</p> <p>特になし</p>	
<p>№3 「職員宿舍借上」 契約相手方 : 神奈川県住宅供給公社</p>	

<p>契約金額 : 1,320,000 円 契約締結日 : 平成 20 年 4 月 1 日</p> <p>特になし</p>	
<p>No 4 「鹿児島支所事務所借上」 契約相手方 : (有)マルトクエステート 契約金額 : 1,335,600 円 契約締結日 : 平成 20 年 4 月 1 日</p> <p>特になし</p>	
<p>No 5 「会計監査人による監査」 契約相手方 : 監査法人トーマツ 契約金額 : 4,725,000 円 契約締結日 : 平成 21 年 2 月 9 日</p> <p>特になし</p>	
<p>No 6 ~ 15 「HNS 資機材保管管理・要員確保及び緊急措置の実施に関する契約（伊勢湾基地）ほか 9 件 契約相手方 : 伊勢湾防災(株)ほか 9 者 契約金額 : 6,423,181 円ほか 契約締結日 : 平成 20 年 4 月 1 日</p> <p>契約金額が、契約相手方により異なるが算定はどのように行っているのか。</p> <p>所要人数は基地ごとに異なるのか。</p>	<p>資機材管理の経費、要員確保の経費及び訓練実施の経費に区分し、それぞれ所要の人数、時間に単価（公共工事労務単価）を積し算出している。</p> <p>基地の実情により 2 名を最低人数とし、8 名の範囲内で確保するようにしている。</p>
<p>No 16 ~ 20 「HNS 企業に対する平時の業務支援の実施に関する契約（千葉基地）」ほか 4 件</p>	

<p>契約相手方 : (株)グイトコーポレーションほか 4 者 契約金額 : 7,356,883 円ほか 契約締結日 : 平成 20 年 4 月 1 日</p> <p>特になし</p>	
<p>№21 「HNS 事故対応支援ネットワークシステムの保守・運用等 (平成 20 年度)」 契約相手方 : 伊藤忠テクノソリューションズ (株) 契約金額 : 8,492,400 円 契約締結日 : 平成 20 年 4 月 1 日</p> <p>一般的にシステムの保守・運用業務の契約金額は予定価格と同額であるが、なぜこの契約について金額が異なるのか。</p> <p>契約金額の検証のため、類似システムの保守・運用業務の価格を調査しておく必要があるのではないか。</p>	<p>予定価格は、契約相手方から徴取した見積を参考に作成したが、契約に当たって価格交渉を行ったところ、安価となったもの。</p> <p>当該システムは常に情報が蓄積され事故対応に使用されているものであり、類似システムの調査は困難である。</p>
<p>№22 「大型油回収装置の保管管理契約」 契約相手方 : 日本サルヴェージ(株) 契約金額 : 1,801,800 円 契約締結日 : 平成 20 年 4 月 1 日</p> <p>契約相手方は、大型油回収装置を備え付けることができる船舶を保有する者に限られるのか。</p> <p>21 年度の契約金額は、20 年度と比較し半額程度になったということであるが、その算定根拠は。</p> <p>必要な船舶を所有し、装置の取扱いに関</p>	<p>船舶に設置し油回収の作業を行うため、装置を備え付けることができる船舶を保有する必要がある。</p> <p>保守管理業務の積算を他の契約の積算方法に合わせたため。</p> <p>次回の契約に向け公募を含め競争性のあ</p>

<p>し専門的知識と技術を有する者は、同者のみであると必ずしも言い切れないことから、競争性のある契約方式の可能性について公募を含め検討する必要があるのではないか。</p>	<p>る契約方式の可能性について検討する。</p>
<p>№23 「防災資機材の運用等の作業実施に関する契約（大型油回収装置運用訓練（志布志）」</p> <p>契約相手方：鹿児島ドック鉄工(株) 契約金額：1,155,084円 契約締結日：平成20年4月1日</p> <p>特になし</p>	
<p>№24～39 「資材保管管理委託契約（千葉基地）」</p> <p>契約相手方：(株)アイコーポレーションほか15者 契約金額：3,213,000円ほか 契約締結日：平成20年4月1日</p> <p>特になし</p>	
<p>№40 「業務委託契約（横須賀基地）」</p> <p>契約相手方：(株)東京汽船 契約金額：1,564,762円 契約締結日：平成20年4月1日</p> <p>当初の計画では、平成21年度中に競争性のある契約に移行予定であったが、移行時期が23年度移行に延長された理由は。</p>	<p>契約相手方との調整が未了であり、移行時期が遅延したものである。</p>
<p>№41 「業務委託契約（千葉基地）」</p> <p>契約相手方：(株)アイコーポレーション</p>	

<p>契約金額 : 1,224,562 円 契約締結日 : 平成 20 年 4 月 1 日</p> <p>特になし</p>	
<p>№42～44 「平成 20 年度 1/四半期第二海堡で海上防 災訓練に使用する燃料油購入」ほか 2 件 契約相手方 : 横浜マリン(株) 契約金額 : 4,530,960 円ほか 契約締結日 : 平成 20 年 4 月 1 日</p> <p>特になし</p>	
<p>№45～46 「横須賀研修所土地賃貸借契約(本館等)」 ほか 1 件 契約相手方 : 横須賀市 契約金額 : 4,428,648 円ほか 契約締結日 : 平成 20 年 4 月 1 日</p> <p>特になし</p>	

2. 一者応札・一者応募の契約について

意見・質問	回答
<p>No1 「電子複写機保守」 契約相手方：富士ゼロックス(株)神奈川営業所 契約金額：1,863,540円 契約締結日：平成20年4月1日 特になし</p>	
<p>No2 「平成20年度国家石油備蓄基地における海上災害対応能力維持及び強化に関する業務」デジタル緊急時計画の改訂及びトレーニング業務」 契約相手方：伊藤忠テクノソリューションズ(株) 契約金額：18,900,000円 契約締結日：平成20年4月16日 特になし</p>	
<p>No3 「平成20年度国家石油備蓄基地における海上災害対応能力維持及び強化に関する業務」海上災害対応シミュレータの開発」 契約相手方：みずほ情報総研(株) 契約金額：31,500,000円 契約締結日：平成20年4月16日 特になし</p>	
<p>No4 「図上・組織演習等の訓練資機材及びHNS・MDSに係る防除措置出動資機材の購入」 契約相手方：(株)徳河 契約金額：5,565,000円 契約締結日：平成20年5月14日</p>	

<p>特になし</p>	
<p>№5 「平成 20 年度海上防災体制の充実強化に係る回収装置の購入」 契約相手方：(株)カネヤス 契約金額：7,203,000 円 契約締結日：平成 20 年 9 月 19 日</p> <p>入札参加要件の緩和とは具体的にはどのような内容か。</p>	<p>入札参加要件を日本国内にアフターサービス工場を有する要件からアフターサービス体制を有する要件に緩和した。</p>
<p>№6 「海上災害防災センターにおける H N S 等業務用車調達（リース車）」 契約相手方：(株)トヨタレンタリース神奈川 契約金額：4,725,000 円 契約締結日：平成 20 年 9 月 22 日</p> <p>特になし</p>	
<p>№7 「平成 20 年度海上防災体制の充実強化に係る必要資機材の購入（油処理剤散布装置）」 契約相手方：(株)カネヤス 契約金額：24,696,000 円 契約締結日：平成 21 年 1 月 13 日</p> <p>特になし</p>	

<p>No8 「平成 20 年度 H N S 事故対応支援ネットワークシステムの改訂等」 契約相手方 : 伊藤忠テクノロジーソリューションズ(株) 契約金額 : 23,100,000 円 契約締結日 : 平成 20 年 9 月 19 日</p> <p>特になし</p>	
<p>No9 消防船「おおたき」、「きよたき」に係わる用船契約」 契約相手方 : 防災特殊曳船(株) 契約金額 : 722,400,000 円 契約締結日 : 平成 20 年 4 月 1 日</p> <p>入札参加要件で東京湾での消防設備船等契約業務歴 3 年以上とあるが、この要件に該当する事業者は他にもいるのか。</p> <p>オフハイヤー時には契約相手方が代替船を用意することになっているが、この条件を緩和することはできないか。</p>	<p>警戒船を保有している事業者であれば、要件に合う者はいると思う。</p> <p>警戒業務を請負うための必須の条件であるため、緩和することはできない。</p>
<p>No10~19 「油回収装置等保守管理業務委託契約(横須賀)」ほか 9 件 契約相手方 : 東京汽船(株) 契約金額 : 4,536,000 円ほか 契約締結日 : 平成 20 年 3 月 13 日</p> <p>改善策として入札参加要件の緩和とあるが、具体的にはどのように緩和し、その効果はどう見込まれるのか。</p>	<p>契約相手方が保有する船舶について、運輸局における油回収能力の認定を事前から事後に緩和することにより、他の事業者の参入を図るようにする。</p>

<p>N o 20</p> <p>「海上災害防災センターにおける訓練業務に係る労働者派遣単価契約」</p> <p>契約相手方 : 南明興産(株)</p> <p>契約金額 : 8,921,115 円</p> <p>契約締結日 : 平成 20 年 3 月 13 日</p> <p>入札参加要件の緩和でアーク溶接の資格保有の要件を廃止することとしたのはなぜか。</p> <p>多種の資格を入札参加の要件としているが、アーク溶接の資格以外にも緩和できるものがないか検討すること。</p>	<p>アーク溶接はセンター職員が行うこととしたため、派遣労働者の資格としては必要ないため廃止した。</p> <p>了解した。</p>
<p>N o 21</p> <p>「火災・流出事故に対応した外国人集団研修等にかかる逐次通訳」</p> <p>契約相手方 : (株)ビーズ</p> <p>契約金額 : 1,694,700 円</p> <p>契約締結日 : 平成 20 年 9 月 19 日</p> <p>特になし</p>	
<p>N o 22</p> <p>「研修生に対する給食」</p> <p>契約相手方 : (株)祝一</p> <p>契約金額 : 3,150,000 円</p> <p>契約締結日 : 平成 20 年 4 月 1 日</p> <p>一者応札となったのは、1 回の納入数が 60 食と多かったためではないか。</p>	<p>一者応札の原因は納入時間が朝早いことにあると考えている。ただし、業務の関係から納入時間を遅らせることは出来ないので、公告期間を延長すること等により、応札者を増やすよう努めることとしたい。</p>
<p>N o 23</p> <p>「有害液体物質の固化及びガス抑制装置」</p> <p>契約相手方 : キソー化学工業(株)</p> <p>契約金額 : 1,869,000 円</p> <p>契約締結日 : 平成 20 年 8 月 12 日</p> <p>特になし</p>	